

いしはら ひでかず
石原 英一質問
QUESTION

今後のふるさと寄附金の方向性は

回答
ANSWER

業務の委託契約を進め、新たな返礼品を追加します

〔企画調整課長〕

質問

財源確保として成功している愛知県幸田町（多い年は38億円）に話を伺うと、返礼品数の多さとふるさと寄附金は比例する傾向が強いと言われま

した。しかし、返礼品数を多くすると、サイトにアップする作業負担が大きいので、見せ方のプロであるIT業者（ふるさと寄附金に關しては出来高払いが多い）に委託しているとのこと。当町も委託して、企画調整課は町内企業や町民とのアプローチを増やして返礼品を増やすことに集中しては。

回答

昨年度は、掲載サイトや、返礼品を追加し、寄附金額は前の年の約12倍となりました。今年度は、さらに掲載サイトを増やし、返礼品も追加予定です。また、IT業者とは業務委託契約の締結に向けて進めます。

質問

行政サービスの模索ツールとし

て空き家や墓の見守りを返礼品に入れ、地域の問題点の解決方法を探ることに利用しては。また、データを見ると、納税サイトで「エアーかおる」を検索される人が多く、そこから安八町のページに飛ぶ可能性を感じます。返礼品掲載に關しては費用はかからないので、例えば、安八百梅園に子どもや孫の名前をつけた梅を植林する返礼品や、結神社で結婚式をあげる返礼品などを追加して、観光地をPRできる場所としても利用しては。

回答

お墓の清掃は、シルバー人材センターへ直接依頼が来ているので商品化に向けて検討します。また、町の情報発信ツールとしても活用し、関係人口の創出につなげます。

※関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域の人々と多様に関わる人々のことを指し、人口減少傾向の昨今、注目されている呼称。

